

# 「君たちはどう生きるか」

2025/7/29(火)開催 ※時間は目安でございます

- ①トップマネジメントの視点でマクロ経済環境/自社の現状を俯瞰すること、
- ②自社に対するホンネを率直にさらけ出すこと、③その解決策を考え、
- 未来の理想の会社像について議論することを目的としております。

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 9:00~  | オープニング                      |
| 9:30~  | ①社長が見ている〇〇                  |
| 11:30~ | 昼食                          |
| 13:00~ | ②文句大会<br>～従業員・ホンネで言うか、諦めるか～ |
| 14:30~ | 休憩                          |
| 14:45~ | ③ウォー！                       |
| 16:15~ | クロージング                      |
| 18:30~ | 懇親会                         |

## 【スズキトモ プロフィール】

大手監査法人を経て、オックスフォード大学で博士号取得、そのまま主任教授まで務めた。国連等の国際機関、チャールズ皇太子、中国、インド政府等との協働により政策提言。インドにおいて損益計算書に追加的な1行を加えることでCSR

(企業の社会的責任)文化を根付かせた One Additional Line 革命で知られる。日本ではIFRSの強制適用を回避した『オックスフォード・レポート』(2012)、四半期報告書の廃止を実現した『成熟経済・社会の持続可能な発展のためのディスクロージャー・企業統治・市場に関する研究調査報告書』(2021)がある。『新しい資本主義のアカウンティング:「利益」に囚われた成熟経済社会のアポリア』(2022)や日経新聞『経済教室』「あるべき企業統治“付加価値の適正分配 再考を”」(2024・4)等の公刊と総理大臣補佐官顧問等の立場から「付加価値の適正分配経営」を推進。多くの上場企業で「付加価値分配計算書」を作成し、それをベースにした統合報告書の作成を支援する活動を強化している。月刊『資本市場』2025年8月号では「夢の仕訳: 役職員株式交付制度の提案」を発表し、従業員株主化やエンパワメントを推進する。



事前視聴願います

